

第 25 回 AMS シンポジウム 2nd circular

2025.3.11

シンポジウム概要

日程：2025 年 3月25日（火）・3月26日（水）

会場：つくば国際会議場 1F 多目的ホール

開催形式：対面による口頭発表とポスター発表

参加費：一般 2,000 円(税込)、学生 1,000 円(税込)

懇親会：一般 5,000 円(税込)、学生 2,000 円(税込)

（参加費・懇親会費は、当日受付にてお支払い頂きます。現金のみ。できるだけお釣りの無いようにご用意ください。）

※当日参加も歓迎いたします。

プログラム

シンポジウムの web サイトに掲載しています：

<https://www.nies.go.jp/chem/terra/japanese/AMS-25.html>

日本 AMS 研究協会総会

3 月 26 日 14:20 から（セッション終了後）

口頭発表形式

一般講演 講演 15 分 + 質疑応答 5 分

HDMI ケーブル接続を用意しております。ご自身の PC で発表してください。PC をご用意できない場合は事前にご連絡ください(niesterra@gmail.com)。

ポスター発表形式

横 90cm×縦 210cm のパネルをご用意します。

また 3 月 25 日 16:40 からショートプレゼンテーションの時間を設けます。

自己紹介と内容紹介をお願いします。パワーポイントをお使いの場合は、事務局で投影しますので、前日(3 月 24 日夕方)までに niesterra@gmail.com 宛にお送り下さい。

懇親会

3 月 25 日 17:30 から会場レストラン「リストランテ TSUMU」で行います。

施設見学

3 月 26 日 14:50 から施設見学を行います。国立環境研究所へはチャーターバスで移動し、帰りはつくば駅に到着の予定です。自家用車でお越しの方は守衛所で入構手続きが必要となります。手続きの詳細については、当日ご案内いたします。

シンポジウム web site： <https://www.nies.go.jp/chem/terra/japanese/AMS-25.html>

問い合わせ先メールアドレス： niesterra@gmail.com （事務局）

第 25 回 AMS シンポジウム実施委員長 内田昌男（国立環境研究所）

第 25 回 AMS シンポジウム プログラム (簡易版)

日時：2025 年 3 月 25 日 (火) 13：15 — 3 月 26 日 (水) 16：50

場所：つくば国際会議場 1F 多目的ホール

3 月 25 日

12:45 受付

13:15-13:20 開会挨拶

13:20-15:00 セッション 1

- O-1 シングルステージ加速器質量分析(AMS)と次世代 AMS(PIMS)：.... 横山祐典
- O-2 山形大学高感度加速器質量分析センターの現状 2024 武山美麗
- O-3 筑波大学 6 MV タンデム加速器質量分析装置における多核種 AMS.... 松村万寿美
- O-4 JAEA-AMS-TONO の現状 (令和 6 年度) 前田祐輔
- O-5 宇宙線生成核種を用いた不安定核ビーム開発の現状 三河美紗希

15:00-15:20 休憩

15:20-16:40 セッション 2

- O-6 東大 MALT における ^{36}Cl -AMS の改良 松崎浩之
- O-7 東京大学総合研究博物館 Compact-AMS の現状(2024 年度) 尾嵯大真
- O-8 国立環境研究所 AMS システムの現状 (2024) 小林利行
- O-9 パレオ・ラボ Compact AMS の現状(2025) 佐藤正教

16:40-16:50 ポスターセッションプレゼンテーション

16:50-17:00 記念撮影

17:00-17:30 ポスターセッション 1

17:30-19:30 懇親会 (会場レストラン「リストランテ TSUMU」)

3 月 26 日

9:00 受付

9:20-10:20 セッション 3

- O-10 完新世北極陸域・海洋における環境変動—アラスカ沖ボーフォー.... 内田昌男
- O-11 アリューシャン列島の海洋炭素リザーバー効果と海産物試料の暦.... 中村俊夫
- O-12 学際領域展開ハブ形成プログラム「宇宙地球環境科学と歴史学・.... 三宅美沙

10:20-10:30 休憩

10:30-11:50 セッション 4

- O-13 陽イオン質量分析の現在と迅速 ^{14}C 測定の未来 大森貴之
- O-14 加速器質量分析を用いた ^{129}I 用 NIST 標準試料の検定 佐久間光紀
- O-15 有機元素分析装置用試料自動包埋装置の開発 國分陽子
- O-16 国立歴史民俗博物館に導入された AMS- ^{14}C 用グラファイト自.... 坂本稔

11:50-12:00	記念撮影	
12:00-12:20	ポスターセッション 2	
12:20-13:20	昼食	
13:20-14:20	セッション 5	
	O-17 日本海深層で検出された炭素 14 の特異な鉛直構造について	荒巻能史
	O-18 北太平洋における海水中 ^9Be , ^{10}Be の分布	永井尚生
	O-19 北太平洋における人為起源 ^{129}I の起源	山形武靖
14:20-14:50	総会	
14:50-16:50	施設見学	
ポスターセッション		
	P-1 東濃地科学センターにおける微量試料の放射性炭素測定	南谷史菜
	P-2 MALT Accelerator Report 令和 5 年度から現在	徳山裕憲
	P-3 Sea ice variability on the Chukchi Borderland during the Late....	内田昌男
	P-4 アラスカの氷河流出水中の有機炭素の放射性炭素年代と起源	岩花剛